

# ソフトウェア品質を支える 人材教育

---

～品質にしっかりと取り組めば、  
組織は賢く、強く、幸せになれる！～

一般財団法人日本科学技術連盟  
品質経営研修センター 研修運営グループ  
SQiP（ソフトウェア品質） 中西 秀昭

— 品質経営で明るい未来を創る —

1. ソフトウェア品質教育フレーム
  2. ソフトウェア品質知識体系ガイドーSQuBOK®
  3. セミナー
  4. ソフトウェア品質管理研究会
  5. 資格制度（JCSQE）
  6. ソフトウェア品質シンポジウム
  7. コミュニティ活動の支援
  8. ソフトウェア品質活動 – SQiP
  9. おわりに、SQiPが追及したいこと
- 参考：SQiPポータルサイト

# 1. ソフトウェア品質教育フレーム

- 長年、ハードウェアで培ってきた品質管理のノウハウを、ソフトウェア産業へ！  
すべてのソフトウェア技術者に品質技術を！
- 日科技連は、一般財団法人（完全な営利団体ではない）  
企業の枠を超えた相互研鑽の「場」の提供ができる！ベストプラクティスが集約

## 研究会

知識の深耕  
技術の  
応用・実践・研究

## シンポジウム

成果・事例発表  
相互研鑽・情報交流

## 国際活動

## セミナー

：初心者向けの基礎学習コースから、  
経験を積んだ技術者、管理者の育成まで

## eラーニング

：初心者向けの基礎学習コース

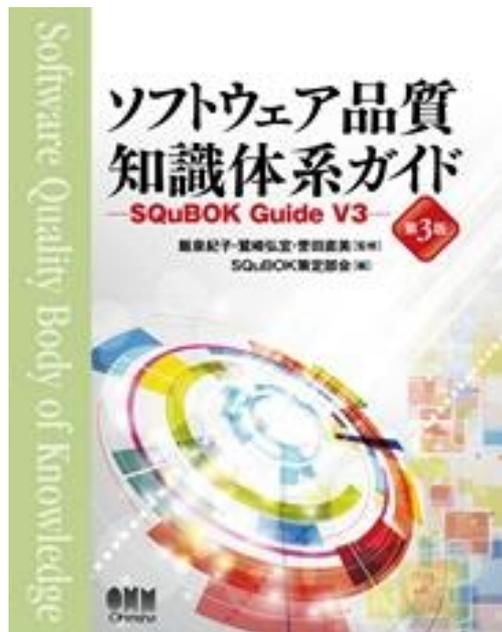
## 資格制度（認定試験）

：身につけた知識と技術の適格性を証明する

# 2. ソフトウェア品質知識体系ガイド 日本科学技術連盟

## —SQuBOK® Guide

Guide to the **S**oftware **Q**uality **B**ody of **K**nowledge



### SQuBOK

ソフトウェア品質に関わる  
実務者や研究者が有する知識体系



知識の  
構造化  
可視化

### SQuBOKガイド



知識領域・トピックの解説

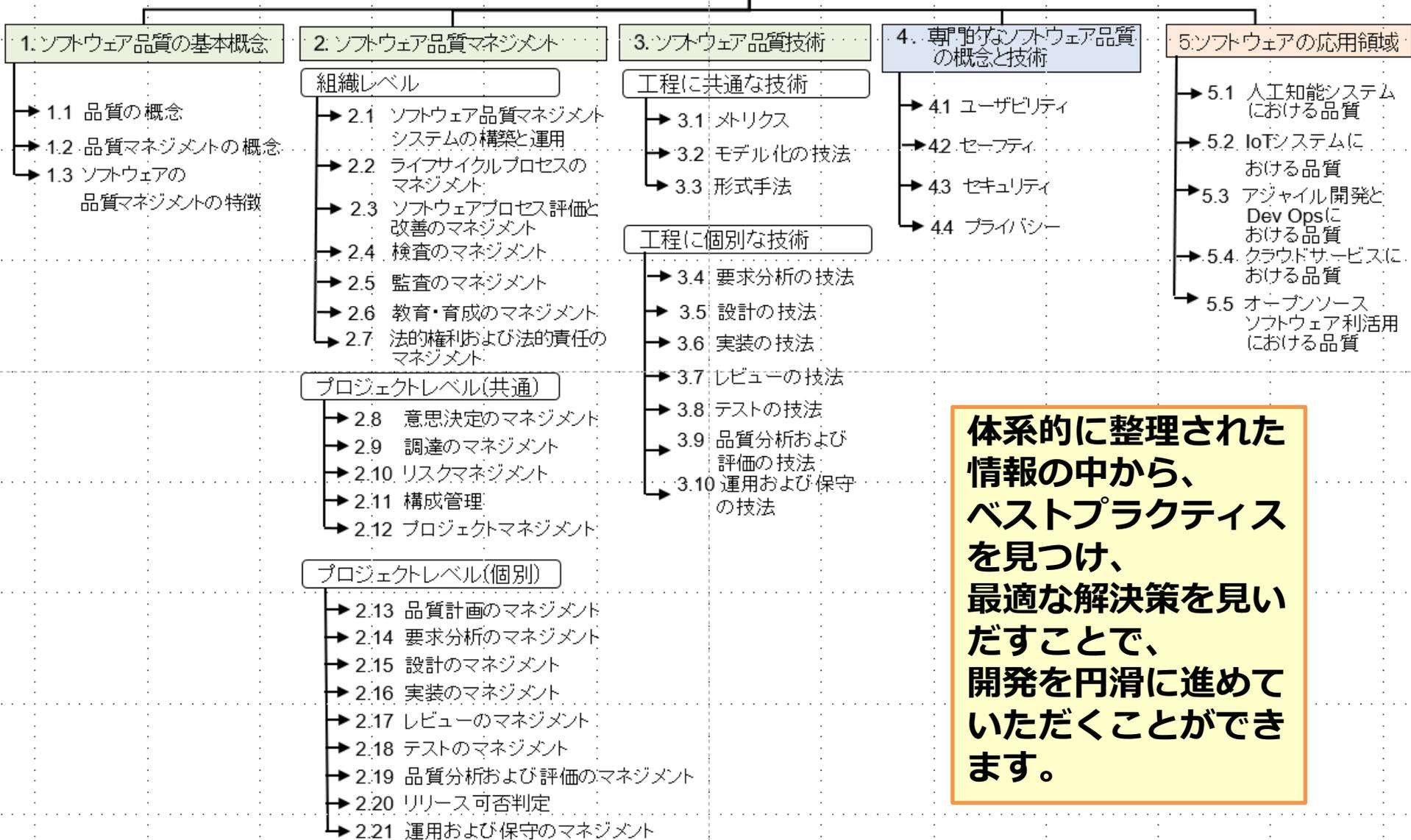
推薦図書  
推薦論文

関連文献  
参考文献

規格  
(標準)

- ソフトウェア品質保証に携わる方の育成
- ソフトウェア品質に関する日本の暗黙知の形式知化、最新のテーマの整理・体系化
- ソフトウェア品質技術の認知度向上
- ソフトウェア品質保証プロセスを確立したい組織の助けを目的とし、まとめたもの。
- **日本発のBOK**であり、グローバルに広めていきたい！

Guide to the Software Quality Body of Knowledge (V3)



体系的に整理された情報の中から、ベストプラクティスを見つけ、最適な解決策を見いだすことで、開発を円滑に進めていただくことができます。

# 3. セミナー

## 2021年度は13種類のセミナーを予定

	名称	日数	開催場所
1	基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー	1日	ライブ
2	ソフトウェア品質技術者初級セミナー【JCSQE資格試験対応】	2日	ライブ
3	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編）	1日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（技法編）	2日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編+技法編）	3日	ライブ
4	実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー	2日	ライブ
5	実践！ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー	6日	ライブ
6	実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー	2日	ライブ
7	実践！プロジェクトマネジメントセミナー	2日	ライブ
8	実践！ソフトウェア品質向上のための原因分析セミナー	2日	ライブ
9	実践！派生開発を成功させるXDDPセミナー	2日	ライブ
10	JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者 – Foundation Levelトレーニングコース	3日	ライブ
11	ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー	2日	ライブ
12	品質重視のアジャイル開発セミナー 概要編・実務編	2日	ライブ
13	eラーニング：ソフトウェア品質技術者初級セミナー	期間3ヵ月	－

初心者向け  
基礎学習コース



ステップ  
アップ



経験を積んだ  
技術者  
管理者

品質管理、品質保証、マネジメント  
プロジェクトマネジメント、開発手法レビュー、テスト、  
メトリクス、資格対応コース…など

eラーニング  
「ソフトウェア品質技術者初級セミナー」

2021年度は、2種類の新規セミナーを実施予定です。

- 1) ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー
- 2) 品質重視のアジャイル開発セミナー 概要編・実務編

		主な対象職種*			
		ソフトウェア 開発エンジニア	ソフトウェア 品質エンジニア	ソフトウェア プロセスエンジニア	ソフトウェア プロジェクトマネージャー
上級		実践！ソフトウェア品質向上のための原因分析セミナー (p.11)			SQIP原因
		実践！プロジェクトマネジメントセミナー (p.10)			SQIPPM
中級		実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー (p.9)			SQIPMC
		実践！ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー (p.8)			SQIPETC
		実践！XDDP（派生開発プロセス）セミナー (p.14)			XDDP
		実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー (p.13)			SQIP
		品質重視のアジャイル開発セミナー【実務編】 (p.18)			SQIP
初級		データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー【技法編】 SQIPメトリクス推進 (p.12)			SQIPメトリクス推進
		JSTQB認定 ソフトウェアテスト技術者—Foundation Levelトレーニングコース (p.16)			JSTQB-FLS
		データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー【基礎編】 SQIPメトリクス基礎 (p.12)			SQIPメトリクス基礎
		品質重視のアジャイル開発セミナー【概要編】 (p.18)			SQIP
		ソフトウェア不具合改善手法ODC分析の基礎セミナー (p.15)			
		JCSQE資格対応	ソフトウェア品質技術者初級セミナー (p.5)		
		基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー (p.4)			SQIPA

The screenshot shows the SQIP website interface. At the top, there is a navigation menu with 'セミナー' (Seminar) highlighted. Below the menu, there is a breadcrumb trail: 'ホーム > セミナー > セミナージャンル別一覧'. The main content area is titled 'セミナージャンル別一覧' (Seminar Genre List). It features a grid of categories with arrows pointing to the right, indicating a progression or relationship between them. The categories listed are:

- 品質マネジメント (Quality Management)
- 品質保証 (Quality Assurance)
- 品質改善 (Quality Improvement)
- プロセス改善 (Process Improvement)
- プロジェクトマネジメント (Project Management)
- 派生開発 (Derivative Development)
- 設計 (Design)
- 要求 (Requirements)
- メトリクス (Metrics)
- レビュー (Review)
- テスト (Test)
- 原因分析 (Cause Analysis)
- 再発防止 (Prevention of Recurrence)
- 管理者 (Manager)
- 資格対応 (Qualification Correspondence)

Below the grid, there is a section for '品質マネジメント' (Quality Management) with a list of seminars:

- 基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー
- ソフトウェア品質技術者初級セミナー
- [eラーニング]ソフトウェア品質技術者初級セミナー
- 実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー

<http://www.juse.or.jp/sqip/seminar/list/>

- ソフトウェア品質の分野で最も歴史のある研究会
  - 継続は力なり！次年度で37年目を迎えます！
  - ソフトウェア品質に関連した「教育・学習」と「事例研究」を1年間継続して行う。高度な技術の習得と問題解決力・実践力の向上を図ることができます。
  - 活動期間：2021年5月～2022年2月（例会・全10回）
  - 参加費：〈一般〉220,000円 〈会員〉198,000円 \*税込
- ※継続参加企業の特典：〈一般〉209,000円 〈会員〉187,000円 \*税込**



各分野第一線の専門家による**特別講義**  
経験豊富な講師陣による強力な**分科会指導**  
研究員との**情報交換および相互研鑽**

# ネットワークづくりに最適です！

- **様々な分野の業種から、多様な立場の方が参加し、**課題を持ち込み、それを議論できる。
- 総勢100名を超える参加者
- **当該分野の第一人者である委員の指導を受けられる**
- 他社の技術者との人脈構築 ⇒ 情報収集  
⇒ ブラッシュアップ ⇒ 成長
- 「研究員と研究員」、「委員・講師と研究員」をつなぐ、**場の提供、ネットワーク作りへのお役立ち**

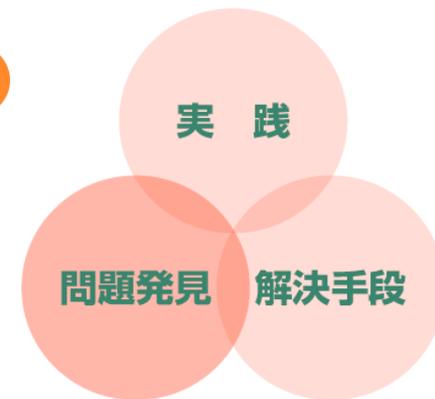
## 過去の参加会社一覧(2010年~2020年)

200社以上の企業に参加いただいています！

(株)IH
アイエス情報システム(株)
アイエックス・ナレッジ(株)
アイシン・コムグループ(株)
アイシン精機(株)
アイホン(株)
旭化成(株)

(株)サンモアテック
(株)シーイーシー
GEヘルスケア・ジャパン(株)
(株)CSK
(株)JSOL
(株)システムソフィア
(株)システムフロンティア

日本ナレッジ(株)
日本発条(株)
日本プロセス(株)
日本ユニシス(株)
(株)ネクストジェン
農中情報システム(株)
(株)ノーリツ





日科技連ホームページ



- ホーム
- セミナー
- 研究会
- シンポジウム
- 資格試験
- 国際会議
- ニュース
- コミュニティ
- アーカイブ
- 調査・研究
- SQuBOK®

ホーム > 研究会 - ソフトウェア品質管理研究会

### ソフトウェア品質管理研究会

## ソフトウェア品質管理研究会 SQiP

【SQiP研究会】2020年4月～2021年2月

メインテーマ ソフトウェア品質技術の領域を拡大し実践する一年

### トピックス

- 【研究員&特別講義参加者募集開始！】  
第36年度(2020年度)ソフトウェア品質管理研究会(2020.1.16)【NEW】
- 【第7回特別講義レポートを掲載しました！(2019.12.27)】【NEW】
- 【パンフレット完成！】  
第36年度(2020年度)研究会(申込開始は1月下旬・予定)(2019.12.17)【NEW】
- 【開催レポート/講演資料/ポスターを掲載しました！】  
「OPEN DAY - 派遣・参加の不安は期待へ、疑問は確信に変わる！」(2019.12.11)
- 【第6回特別講義レポートを掲載しました！(2019.12.11)】

人気のコースは、締切日前でも申込受付を締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください！！  
<http://www.juse.or.jp/sqip/workshop/>

### 研究会

#### ソフトウェア品質管理研究会

ご参加のおさそい

## OPEN DAY 開催レポートも公開中！

- 派遣・参加の不安は期待へ、疑問は確信に変わる！

ポスターセッションでは、本研究会の具体的な活動について、11テーマ(分科会)に分かれて実施いたしました。セッションでは、参加者と指導講師による活発な意見交換が行われ、実際に本研究会の活動に触れていただきました。



白熱したポスターセッション

### 各コースのポスター公開！

各コースの指導講師にご紹介いただいたポスターを公開しております。ポスターセッションの内容を見返したい方や当日、ご参加いただけなかった方は、ぜひご覧ください。

※写真をクリックいただくと拡大表示されます。  
※拡大表示された写真をクリックいただくと次の写真が閲覧できます。



研究コース1  
「ソフトウェアプロセス評価・改善」



研究コース2  
「ソフトウェアレビュー」



研究コース3  
「ソフトウェアテスト」

※ポスター内「レビューの基本作法やレビュー手法を演習で体験しながら学ぶ」、「現場で抱えているレビューの課題を持ち寄り、対策を考える」は[こちら](#)からご覧いただけます。



## 派遣者の声



### 中嶋 洋一 様

エプソンアヴァシス株式会社  
事業推進4部 部長

## 『ソフトウェア品質の プロフェッショナル育成に最適です。』

「素早く作れて、しかも高品質」を求められるソフトウェアの世界で、開発の進化に対しソフトウェア品質管理がどう追従/先回りすべきか悩んでいたところ、本研究会を見つけました。

内容を何うち、解決に向けたヒントが得られる可能性を感じました。しかしそれ以上に、同じ悩みを抱える仲間と課題解決に向け協働すること、またその過程で広く業界を知ることが、会社の垣根を超えた人脈の形成、エンジニアとしての深みに繋がるであろうと感じ、派遣に至りました。

研究会への派遣開始から1年が経ち、論文の共同執筆を終えた彼は現在、研究会での活動実績を武器に品質管理チームリーダーとして活躍しはじめています。

多様な意見、考え方に触れることで、社内だけでは得難い多くの刺激を受けることができるのは、本研究会の大きな魅力です。また、環境変化に即した研究テーマがありますので、ソフトウェア品質の最新動向を自社に取り込むにあたって非常に良い場です。

## 参加者の声



### 柏倉 直樹 様

株式会社ディー・エヌ・エー  
品質管理部

※ 35年度(2019年度)参加 実践コース「品質技術の実践」

## 『本質的な課題とその解決策を 見つけることができる』

研究テーマの選定から成果発表までの全ての工程を自分自身で進める経験をしたいと思い実践コースに参加しました。以前から社内でワーキンググループに参加し、取り組みの成果を社外シンポジウムで発表するなどしていましたが、そろそろワーキンググループをリードできるようになりたいと思っていた際、「JSQIP研究会の実践コースならテーマ選定から成果発表までをじっくり経験することができるため、ワーキンググループをリードするヒントが得られるかもしれない」と、職場の同僚に勧められたことがきっかけで参加を決めました。

実践コースでは解決したいことや自分のやりたいことを持ち寄り、指導陣とのディスカッションを通じて課題の深堀、解決策の選定、成果を論文にまとめる、という一連の流れを経験でき、十分に参加の目的を果たすことができました。

特に有益だったことは、指導陣の豊かな経験と知識、広い視野をもってフィードバックをいただけるため、自分が問題・課題と思っていたことが実は本質的な問題・課題ではなかったことに気付けたことです。おかげでより効果的・効率的な解決策を選定することができました。また、安易に解決策を決めず、本当の課題は何かを徹底的に検討してから解決策を検討するマインドを身につけることができました。

研究会を通じて得られたものは多いですが、あえて3つにまとめるとすれば以下の3点と思います。

- ・論文というツールを使って、自分のやりたいことを明確にし、それを実現する最善の方法を様々な切り口から検討し、組織の課題解決に結びつける
- ・その過程を通じて、より深く多面的に思考する力を身につけ、品質向上に関わる知識や技術を学び、他者にわかりやすく説得力を持って物事を伝える訓練をつむことができる
- ・最終的なアウトプット(論文)は社外に向けて公開され、個人的にも会社的にもプレゼンスが向上する

# 5. 資格制度 (JCSQE)

JCSQEを人材育成の社内計画に入れて活用する企業が増えています!

派遣企業様の声

## ソフトウェア品質技術者 資格試験



～ソフトウェアの品質技術のプロフェッショナルを目指す～

対象

- ソフトウェア開発に関わるエンジニア
- 品質保証エンジニア・マネージャ
- ソフトウェア品質向上を目指すすべての方々

### あなたのソフトウェア品質力を認定します!

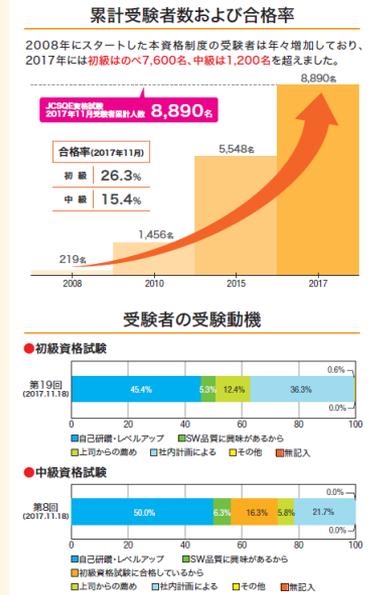
本資格は「スキル標準ユーザ協会 (SSUG)」の「ITスキル標準 (ITSS) のキャリアフレームワークと認証試験・資格とのマップ」にて、初級はレベル2、中級はレベル4に位置づけられています。



- **日本電気株式会社 様**  
当社では社内資格制度の必要条件としてJCSQEを指定し、スペシャリストの育成を目指しています。
- **NECソリューションイノベータ株式会社 様**  
ソフトウェア品質技術力を客観的に示すことができ、社内外へのプレゼンス向上にも役立っています。
- **株式会社ニコンシステム 様**  
本資格を所有するメンバーの増加により、少しずつ現場の雰囲気が変わりつつあります。
- **TIS株式会社 様**  
品質保証部門系のスタッフを中心に本資格への受験を推奨しています。
- **NTTコムウェア株式会社 様**  
ソフトウェア品質を担保できる技術者であることを客観的に示す本資格の資格取得推進に向けた取り組みを行っています。
- **日通システム株式会社 様**  
製品品質をより向上させていくために、ソフトウェア品質技術者の育成に向けた取り組みを行っています。
- **株式会社インテック 様**  
ソフトウェア品質保証の専門家で育成の1ステップとして活用しています。社内外に対して「品質力の見える化」にもなります。

各社の活用事例は、Webで公開中です。

→ <http://www.juse.or.jp/sqip/jcsqe/>



## 2008年に創設、有効性・知名度が年々高まっています

- 受験者は12,000名を突破！初級有資格者は3,834名、中級有資格者は266名
- 受験料\* (初級) 11,000円 / (中級) 16,500円 \* 税込  
→ 団体申込(同一窓口から10名以上) で、強力にご支援中!
- 初級は年2回 (6月と11月)、中級は年1回 (11月) に実施

<https://www.juse.jp/jcsqe/>

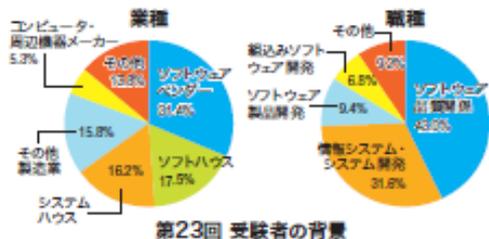
# 「ソフトウェア品質技術者資格認定制度(JCSQE)」とは？

- 目的**
  - 本制度は、すべてのソフトウェア技術者が品質技術を身につけ、実践していくことにより、ソフトウェア品質の向上を実現することを目的としています。
- 対象**
  - 品質保証部門だけではなく、開発者、テストエンジニアなどソフトウェアに携わるすべての方を対象としています。
- 構成**
  - 初級、中級、上級の3段階により構成されます。
  - 初級試験は年2回、中級試験は年1回、定期的を実施しています。
  - 上級の試験については今後新設していく予定です。
- 試験内容**
  - 「ソフトウェア品質知識体系ガイド—SQuBOK Guide」をベースに出題されます。ソフトウェア品質全般に関する知識を問う内容になっています。
  - 中級では、さらに実務経験を要する内容となっています。言い換えれば、「ソフトウェア品質力」を有しているか否かを判定するものです。

## 初級資格試験

試験料	<b>11,000円(税込)</b> ※税抜価格:10,000円、消費税10% 1,000円
出題形式	選択問題(40問) 過去の出題問題ならびに解説をWebにて公開中! <a href="https://www.juse.jp/jcsqe/study/past/">https://www.juse.jp/jcsqe/study/past/</a>
出題範囲	出題範囲は初級シラバス(Ver.2.0)に準拠しています。 シラバス内には、知識レベルを設けておりますが、知識レベル1~3で出題されます。 知識レベルは図1をご参照ください。 ※シラバスは不定期に更新されることがあります。ご注意ください。
実施データ	2020年1月末まで計23回実施 累積受験者数 9,518名 累積合格者数 3,667名 合格率 38.5%

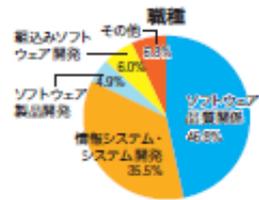
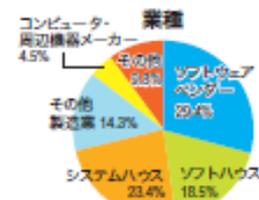
合格ライン  
**70%**  
程度



## 中級資格試験

試験料	<b>16,500円(税込)</b> ※税抜価格:15,000円、消費税10% 1,500円				
出題形式	選択式と記述式3種類の問題形式(下記)で出題 <table border="1"> <tr> <th>選択式</th> <th>複数の選択肢から正解を選ぶ</th> </tr> <tr> <th>記述式</th> <th>穴埋め 文章中の用語の穴埋め 説明 用語についての定義や活用方法の説明 解説 あるテーマについてその理由や留意点などの考察を記述</th> </tr> </table>	選択式	複数の選択肢から正解を選ぶ	記述式	穴埋め 文章中の用語の穴埋め 説明 用語についての定義や活用方法の説明 解説 あるテーマについてその理由や留意点などの考察を記述
選択式	複数の選択肢から正解を選ぶ				
記述式	穴埋め 文章中の用語の穴埋め 説明 用語についての定義や活用方法の説明 解説 あるテーマについてその理由や留意点などの考察を記述				
出題範囲	過去の出題問題ならびに解説をWebにて公開中! <a href="https://www.juse.jp/jcsqe/study/past/">https://www.juse.jp/jcsqe/study/past/</a> 出題範囲は中級シラバス(Ver.2.0)に準拠しています。 シラバス内には、知識レベルを設けておりますが、知識レベル3~4で出題されます(選択式は知識レベル2~3で出題)。 知識レベルは図1をご参照ください。 ※シラバスは不定期に更新されることがあります。ご注意ください。				
実施データ	2020年1月末まで計10回実施 累積受験者数 1,761名 累積合格者数 244名 合格率 13.9%				

合格ライン  
**70%**  
程度



## 【図1】知識レベル

- レベルL1(知っている)**  
概念や用語を知っており、その概要を述べることができる。
- レベルL2(知識を説明できる)**  
概念や用語の意味や背景を理解しており、具体的な例を挙げて説明することができる。
- レベルL3(概念と使い方がわかる)**  
概念や技術の使い方がわかっており、それらを適切に選択して、限られた条件の下で与えられた課題を解決できる。
- レベルL4(詳しく理解し応用できる)**  
概念や技術を詳しく理解しており、実用的な問題を解決するために、その知識を応用できる。
- レベルL5(熟達している)**  
実社会の複雑な問題に対して、構造を明らかにして要素に分解するとともに、解決に必要な検討を加えて結論を導くことができる。

# 6. ソフトウェア品質シンポジウム 日本科学技術連盟 日科技連

## 日本におけるソフトウェア品質に関する最大級のイベント！

ソフトウェア製品の品質と生産性の効率向上を目指して、年に1回毎年9月に開催しています。創設以来39回目を迎える歴史があり、かつ3日間で有料参加者のべ約2,500名が来場する、ソフトウェア事業を代表する人気イベントです。コンセプトは「聴く、考える、話す」。自己成長、人材育成の場としても定評があり、参加者がお互いにステップアップの場となっています。



年	最近の特別講演・基調講演
2019	<p><b>特別講演：</b>スマートコンストラクションで実現する建設産業のデジタルトランスフォーメーション 四家 千佳史 氏 株式会社小松製作所 執行役員 スマートコンストラクション推進本部長</p> <p><b>基調講演：</b>新たなイノベーションをもたらすIoTの次なるステップとは 坂村 健 氏 東洋大学 INIAD (情報連携学部) 教授/学部長、工学博士</p>
2018	<p><b>特別講演：</b>「物流の改革」を実現宅急便の進化を支える最重要システム・IT 戦略 田中 従雅 氏 ヤマトホールディングス株式会社 執行役員 IT 戦略担当、ヤマト運輸株式会社 常務執行役員</p> <p><b>基調講演：</b>IoT時代の品質・生産性向上とは；“共創”に基づく-顧客価値創造 圓川 隆夫 氏 職業能力開発総合大学校長、東京工業大学名誉教授</p>
2017	<p><b>特別講演：</b>セブン-イレブンの総合情報システム「近くて便利」を支えるシステム構築と品質 粟飯原 勝胤氏 株式会社セブン&amp;アイ・ホールディングス 取締役執行役員</p> <p><b>基調講演：</b>忘れていませんか？コミュニケーションに係わるヒューマンファクター ～自らエラーをしようと思っている人間はいない！～ 塚原 利夫 氏 日本ヒューマンファクター研究所 取締役副所長 兼 教育開発研究室長</p>

一般発表募集

応募締切日 **4/20(火)!**

日科技連  
日本科学技術連盟

# ソフトウェア品質シンポジウム2021

## —ソフトウェア品質に関する国内最大級のイベント—



日程：2021年9月8日(水)~10(金) (予定)

会場：東京・日科技連・東高円寺ビル(予定)

形態：オンライン (予定)

主催：一般財団法人日本科学技術連盟

### Software Quality Symposium

## ご自分の研究成果や経験を発表してみませんか？

応募期間 **1月下旬  
~ 4月20日(火)**

採否通知期日 **6月下旬 (予定)**  
コメント付

発表期日 **9月9日(木) or  
9月10日(金) (予定)**  
※発表日時はテーマ等によって  
シンポジウム委員会で決定いたします。

### 募集内容

※日本語の投稿/発表を募集します。

「経験論文」と「経験発表」の2つのカテゴリの投稿を募集します。

「経験論文」、「経験発表」とともに発表時間は30分(発表25分、質疑5分・予定)です。

## 一般発表の会場風景

聴講者による一般発表への評価は高く、発表者からも「発表してよかった!」とのお声をいただいています。

〈会場はいつも満員です!!〉



### 1. アブストラクトで応募できます

多大な労力を費やして論文を作成し、投稿しても採用されるとは限りません。本シンポジウムは、アブストラクトで応募でき、本文を書く前に採否が決まります。また、アブストラクトの査読結果は産・学の専門家によるコメントを付けて投稿者に通知いたしますので、その後のフルペーパー執筆の参考になりますし、もし採用されなかったとしても、今後のステップアップに活用できます。

### 2. スライドのみでも投稿できます

投稿区分として「経験論文」と「経験発表」の2つを用意しています。「経験発表」についてはスライドのみで投稿できます。(いずれもアブストラクトの段階で採録のための査読を行います。)

### 3. 発表者は特別料金でご参加いただけます

発表者は、一般参加費38,000円(税抜き)のところ、特別参加費5,000円(税抜き)でシンポジウムでご参加いただけます。共同執筆者の方は発表報文1件につき1名様のみ18,000円(税抜き)でご参加いただけます。

### 4. PDU発給

本シンポジウムはPMP®向けのPDU発給の対象となっており、本シンポジウムで発表された場合は、新CCRプログラム「Giving Back」でPDUを自己申請できます。

詳細はこちらのサイトでご確認ください。[https://www.pmi-japan.org/pmp\\_license/renewal/ccr\\_handbook.php](https://www.pmi-japan.org/pmp_license/renewal/ccr_handbook.php)

### 上司の声 梯 雅人氏

株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部  
IoT・クラウドサービス事業部 ITソリューションQA本部 本部長

ソフトウェア品質シンポジウムでの発表の意義として、まず第一にこれまでの仕事の成果を整理することで改めてその有用性を発見できたり、聴講の方々に理解していただくための説明の訓練の場として大変有効であると考えています。またこれより大きな効果として、自身の発表を通して他者の取り組みにも目を向けられるようになることだと感じています。変化の激しい昨今、品質保証の活動はこれまでのようにベストプラクティスの積み上げやその標準化だけではなく、ビジネス環境やお客様が感じる価値の変化に敏感に反応しながら取り込んでいくことがますます重要になっています。今回の経験が自部門の取り組みだけでなく、社内外やグローバルでの取り組みにも目を向け、自らのミッションに最適な活動を自ら考えて推進していくための礎になるのではないかと期待しています。



上司の梯様

## ソフトウェア品質シンポジウム 公式facebookページで最新情報発信中!

シンポジウムの最新情報を  
ご自身のタイムラインに表示するためには  
シンポジウムのページで



ボタンを押してください

[https://www.facebook.com/SQiP\\_symposium/](https://www.facebook.com/SQiP_symposium/)

## ソフトウェア品質保証部長の会（東京）

- 品質保証活動に関する**部門長レベルの技術交流**や**情報交換**ができる場。
- 様々な業種の品質保証プロフェッショナルと**社外ネットワーク**が作れます。
- 技術や課題、価値観を語り合い、競い合う場として活用することができます。
- 豪華な講師陣による講演や参加者による事例発表もあります。



↑ 10周年記念サイトはこちら

- 1980年 ソフトウェア生産管理  
(SPC : Software Production Control) 研究委員会を設置
- 2007年 呼称を「SQiP」に改称、SQiP 活動スタート



※「スキップ」と呼ぶ

Software Quality Profession

Profession = 高い専門技術

強固な倫理観

※3つの Profession (聖職者、医師、弁護士)  
ソフトウェア品質技術者を  
第4の「Profession」として位置付けたい！

# ソフトウェア品質運営委員会

(敬称略)

## 委員長：

野中 誠 (東洋大学)

## 副委員長：

誉田直美 (イデソン)

西 康晴 (電気通信大学)

飯泉紀子 (日立ハイテク)

鷺崎弘宜 (早稲田大学)

## 委員：

小笠原秀人 (千葉工業大学)

小池利和 (ヤマハ)

孫福和彦 (日立ソリューションズ)

森崎修司 (名古屋大学)

[http://www.juse.or.jp/sqip/about\\_sqip/index.html](http://www.juse.or.jp/sqip/about_sqip/index.html)

# SQiP Software Quality Profession

品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる！

## SQiPとは、

実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策の研究・体系化と普及推進を目的として、日本科学技術連盟の下に設置されたソフトウェア品質向上のための活動です。

SQiPは、「ソフトウェア品質を良くしたい」という思いを共有する方なら、誰でも参加できるオープンな場です。

## 委員長のご挨拶

2012年4月より、三代目SQiP運営委員長を仰せつかっております。ソフトウェアに関わる方々が抱く「品質を良くしたい」という思いを大切にしながら、ソフトウェア品質に対する社会のニーズに応えるべくSQiPの活動を展開しています。SQiPでは、顧客満足をもたらす製品やサービスを、経済的に提供するためのソフトウェア品質技術および組織的施策について、実践的で有効な方法論を調査し、議論し、形式知化し、体系化を試みています。また、これを産業界へと普及させることで、安心・安全な社会に貢献します。

SQiPの場に参加し、学び、情報発信していく。これがご自身の成長になり、組織への貢献、さらには組織の持続的成長につながります。SQiPの活動に、多くの方に関わっていただきたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



SQiP委員長  
野中 誠氏  
(東洋大学)

SQiP副委員長  
誉田 直美氏  
(イデソン)

SQiP副委員長  
西 康晴氏  
(電気通信大学)

SQiP副委員長  
飯泉 紀子氏  
(日立ハイテクノロジーズ)

SQiP副委員長  
鷺崎 弘宜氏  
(早稲田大学)

## SQiPのミッション

- ソフトウェア技術職を自ら誇れる職業として位置づけ、
- 実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策を体系化し、これを普及させることにより、
- 日本の、ひいては世界のソフトウェア産業の健全な発展に寄与し、
- 品質の良いソフトウェアによってもたらされる安心・安全な社会の実現に貢献します。

## SQiPの活動方針

- ソフトウェア品質の重要性を訴求
- 実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策の研究・体系化と普及推進
- 日本のソフトウェア産業の健全な発展に貢献
- グローバルな視野での活動、国際協力の推進
- 新しい課題へのチャレンジ

## SQiPの歴史 ～35年以上にわたり、ソフトウェア品質向上のための取り組みを行っています～

1980年、日科技連では、日本におけるソフトウェア製品の品質向上と効果的開発の方法論の確立を目指して、「ソフトウェア生産管理研究委員会」(SPC, Software Production Control)を設置しました。以来、「TQMとソフトウェア工学の結晶」を標榜し、日本の品質管理をソフトウェア生産に適用するための調査・研究・普及を行ってまいりました。

2007年に、この活動が「ソフトウェア品質に関する活動」であると分かりやすくなることと、ソフトウェア技術職という専門的職業の持たせたいという思いから、SQiP (Software Quality Profession) に改称しました。

1980年の設立当初は、メインプレーヤーで培われたソフトウェア品質技術・施策を議論する場でしたが、現在はソフトウェア産業に関わるすべての方々が議論できる場になっています。その間、海外視察団を派遣して海外との交流を行うなどして、それがWCSQ (World Congress for Software Quality) の実現につながっています。また、これらの議論を通じて得られた知見をSQuBOK®として体系化し、これを基本とした資格制度の創設、セミナーの開発を行い、誰もがソフトウェア品質を学べる環境を作っています。今後は、アジア各国と手をつなぎ、日本のソフトウェア品質技術・施策の良さを世界へ発信していきたいと考えています。

品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる  
品質経営が有効である！品質なくして企業の存続なし！

## ■ 品質にしっかりと取り組む

- ソフトウェアを通じて顧客に提供する**価値**を考える
- 価値を提供し続けるために、**組織的に必要な活動**をデザインする
  - ・ 対象とするニーズを定める／新たに掘り起こす
  - ・ ニーズを満たす製品・サービスの品質要素を計画する(**ねらいの品質**)
  - ・ 品質要素の実現度合い(**できばえの品質**)を保証するプロセスを確立する
  - ・ 品質要素の実現に係る固有技術と、管理や品質保証に係る技術を進化させ、価値提供のスピードを加速する
  - ・ 提供した価値に対する顧客満足の度合いを評価する
  - ・ 「事実に基づく管理」を主軸にして、プロセスを継続的に改善する
  - ・ この過程で得られた知識を、組織的に活用する

## ■ 組織が賢く、強く、幸せになる

- 価値提供の結果 / 自社独自の経験 / 失敗に学び、組織が賢くなる
- 組織独自の知識・技術 / 継続的改善能力は、競争優位の源泉である
- 賢く強い組織は、幸せになる



## Information

- 2019.12.06 **NEW** 2020年度「教育／セミナー総合ガイド」完成しました
- 2019.12.02 日科技連グループ 2020年新年賀詞交歓会のご案内
- 2019.10.28 JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者 — Foundation Levelトレーニングコース 新シラバス対応に伴い、カリキュラムを変更いたしました。
- 2019.10.25 [参加費無料・申込受付中] ソフトウェア品質管理研究会「OPEN DAY – 派遣・参加の不安は期待へ、疑問は確信に変わる！」(11/25開催)
- 2019.10.16 台風19号に対するお見舞い

**SQiP Library**

研究会やシンポジウムなどの活動で得ることのできた成果を一般公開しております。  
ソフトウェア品質管理活動にお役立てください。

いいね! 105 ツイート

SQuBOK®とは?	SQuBOK®分類検索	キーワード検索
SQuBOK®とは、わが国のソフトウェア業界が蓄積してきた有用な「知識」の構造的可視化をめざし、「ソフトウェア品質保証に携わる方の育成」「ソフトウェア品質の暗黙知の形式知化、最新のテーマの整理と体系化」、「ソフトウェア	SQuBOK®で分類されている樹形図の項目により資料を検索することができます。  ※このSQuBOK®分類の参照図は、SQuBOK®ガイド第2版に沿って分類されて	タイトル・著者・説明文などで資料を検索することができます。  ▶ フリーワードだけでなく、年代別だけでも、または、フリーワードと年代別画面でも検索できます。

様々な情報をポータルサイトを基点に発信しています！

<http://www.juse.or.jp/sqip/>

# ソフトウェア品質を支える人材育成の案内 日本科学技術連盟

- ソフトウェア品質セミナーガイド
- アジャイル開発セミナー
- 第37年度(2021年度)ソフトウェア研究会 パンフレット
- ソフトウェア品質技術者資格認定制度
- ソフトウェア品質シンポジウム2021 一般発表募集

QRコードを読み取っていただけたら、上記ご案内をダウンロードすることができます。



ご清聴ありがとうございました。  
ご質問などは下記までお願いします。

一般財団法人日本科学技術連盟  
品質経営研修センター 研修運営グループ  
SQiP（ソフトウェア品質）担当：中西 秀昭  
03-5378-9813  
sqip@juse.or.jp

— 品質経営で明るい未来を創る —